

声優芸能科 俳優養成 受講科目一覧 2年次

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

45分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
演習	課題台本ゼミナールⅡ	74	2	4
講義	身体感情表現Ⅱ	74	2	4
講義	ヴォーカル基礎知識Ⅱ	74	2	4
講義	音声技法Ⅱ	74	2	4
実習	殺陣パフォーマンスⅡ	74	2	2
実習	映像演技Ⅱ	74	2	2
演習	演技ゼミナール(選択)	74	2	4
実習	ヴォーカルⅡ(選択)	74	2	2
講義	言語感情表現Ⅱ(選択)	74	2	4
演習	ヴォイスアクター実習(選択)	74	2	4
講義	ナレーション応用(選択)	74	2	4
演習	ミュージカル/2.5次元ゼミナール(選択)	74	2	4
講義	声優スタッフ知識(選択)	74	2	4
講義	俳優基礎Ⅱ	74	2	4
演習	ダンス応用(選択)	74	2	4
演習	表現パフォーマンスⅡ(選択)	74	2	4
実習	分野別実習Ⅱ	74	2	2
(選択授業のうち4つ選択)合計		888	24	40-42

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	課題台本ゼミナールⅡ		授業形態 / 必選	演習	必修
	学則別表上表記	課題台本ゼミナールⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	福岡の劇団で演出を担当。福岡という地方で生まれた舞台を、別都市で上演することにこだわり、土地の空気を感じながらリメイクし、ツアー公演を行う。演出経歴15年。現在に至る。日本演出者協会主催の演劇祭による韓国戯曲の演出や、海外公演での舞台創作・演出家としても活躍。舞台俳優として、また舞台演出としての活動経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
①文章の読解力、分析、構成。 ②課題戯曲の読み解き。 ③舞台作品の創作。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・作品を分析、構成を理解する力をつける。 ・俳優に必要なコミュニケーション力と柔軟性を獲得しする。(自分と他者、環境などを振り返り、言語化できるようになる) ・脚本、創作意図を理解、解釈し、演技で表現する。 ・一つの作品を創作し、卒業公演として上演する。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	<ul style="list-style-type: none"> ・空間を意識した発声と柔軟(年間で継続的に実施) ・呼吸と体幹のコントロールするための訓練(スローモーションやタイガーウォーク・年間で継続的に実施) ・卒業公演に向けて企画ディスカッション
【前期】 5～8回目	<ul style="list-style-type: none"> ・テーブルゲームをつかったコミュニケーションとインプロゲーム・エチュード ・実生活に基づいた演技と再現性をエチュードを通して体感する。 ・卒業公演の作品選定
【前期】 9～12回目	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業公演の作品決定 ・卒業公演創作:7/14(金)からの開始を目標とする。
【前期】 13～16回目	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業公演創作 ■前期試験:卒業公演上演戯曲を読み、作品分析を発表、レポート提出。
【前期】 17～19回目	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業公演創作
【後期】 20～23回目	卒業公演創作(戯曲選定・ディスカッション)
【後期】 24～27回目	卒業公演創作(配役・試演)
【後期】 28～31回目	卒業公演創作(創作)
【後期】 32～35回目	<ul style="list-style-type: none"> 卒業公演創作 ■後期試験:卒業公演リハーサル完成度をみる。
【後期】 36～37回目	<ul style="list-style-type: none"> 卒業公演創作:2/17(金)～2/24(金) ■卒業公演
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「平常点/コミュニケーション/身体表現/演技力/完成度」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	<p>一つの作品を観客に発表するまでには、たくさんの人々がそれぞれ専門とする仕事を集結させます。表方はそのなかの一つの役割です。</p> <p>声優、舞台俳優、映画俳優といったカテゴリーに関わらず、演じることで表現する職業を目指すにあたり、実際に作品を創作し、本番を体験することで、自分がどんな俳優・声優になっていくのかを考えていきましょう。</p>
備考	<p>この講座は、必ず動きやすい服装で参加してください。 ヒール不可。(履き替えられるものをご用意ください)</p> <p>・『赤鬼』著:野田秀樹 ・『マクベス』ウィリアム・シェイクスピア その他都度選定した戯曲台本を使用。</p>

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	身体感情表現Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	身体感情表現Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡の劇団で演出を担当。福岡という地方で生まれた舞台を、別都市で上演することにこだわり、土地の空気を感じながらリメイクし、ツアー公演を行う。演出経歴15年。現在に至る。日本演出者協会主催の演劇祭による韓国戯曲の演出や、海外公演での舞台創作・演出家としても活躍。舞台俳優として、また舞台演出としての活動経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
①基礎の向上と、身体コントロール。 ②作品鑑賞。 ③関係性を表現する演技プラン					
到達目標					
・基礎において1年次に到達できなかった点を分析し到達する。 ・呼吸と体幹のコントロール(スローモーションやタイガーウォーク等・年間で継続的に実施) ・空間を意識した発声(年間で継続的に実施) ・俳優に必要なコミュニケーション力と思考方法を獲得する。(自分と他者、環境などを振り返り、言語化できるようになる) ・なるべく多くの作品に読む・観る・演ずる形で触れ、様々なキャラクターを演じられる基礎を築く。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・空間を意識した発声と柔軟(年間で継続的に実施) ・呼吸と体幹のコントロールするための訓練(スローモーションやタイガーウォーク・年間で継続的に実施) ・作品鑑賞(指輪ホテル・海外作品など)
【前期】 5～8回目	・テーブルゲームをつかったコミュニケーションとインプロゲーム・エチュード ・名詞、形容詞、ト書きから戯曲の成り立ちを考える。 ・資料映像を使い、表現の違いを分析する。
【前期】 9～12回目	・国内戯曲を演じる。(作品選定) ディスカッションを繰り返しながら演技プランを組み立てる。
【前期】 13～16回目	・卒業公演創作 ■前期テスト:夏休み中に映画『聖杯たちの騎士』を鑑賞し、作品分析を発表、レポート提出。
【前期】 17～19回目	・卒業公演創作
【後期】 20～23回目	卒業公演創作(戯曲選定・ディスカッション)
【後期】 24～27回目	卒業公演創作(配役・試演)
【後期】 28～31回目	卒業公演創作(創作)
【後期】 32～35回目	卒業公演創作 ■後期試験:俳優としての創作現場での取り組みで評価する
【後期】 36～37回目	卒業公演創作 ■卒業公演
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「平常点 /コミュニケーション/身体表現/演技力/完成度」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	演じるという行為は、日々の生活の中で意識的・無意識的に行われています。しかしそれを再現し、自身の肉体や言葉を作品として起していく作業には、考える力とそれを他者に伝える言語、コミュニケーションが必要です。 この授業では、様々な表現力を獲得するための思考力を、創作の実践を通して学びましょう。
備考	この講座は、必ず動きやすい服装で参加してください。 ヒール不可。(履き替えられるものをご用意ください) 都度選定した戯曲台本を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカル基礎知識II		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	ヴォーカル基礎知識II	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	YAMAHAポピュラーミュージックコンテストボーカル部門優勝経験を持ち、1999年よりアーティスト活動開始。歌手としてデビューし4枚のCDをリリースしている。黒人霊歌、ソウル、R&B、ジャズなど、アメリカンブラックミュージック中心に現在もライブ活動をしている。様々なジャンルの音楽に携わってきたヴォーカリストとしての活動経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
1年次からの発声をさらに確立させる。身体を共鳴させる、自らコントロールすることを確立させる。リズムに着目し、グルーブにのせての歌唱レッスン。表現力up自分にしか歌えない歌をめざす。					
到達目標					
・音量、音域を発展させる。・身体、頭部、表情筋の使い方。・無理のない自身の声をみつける。・楽曲の理解、グルーブの理解。・歌詞の内容の理解～自らの表現に繋げる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	基礎発声の復習、確認。実力チェック。
【前期】 5～8回目	イメージトレーニング。グルーブの違い。コード感と感情の繋がりが。
【前期】 9～12回目	グルーブに乗せて発声。身体を使って声でグルーブを出す
【前期】 13～16回目	楽曲を使って、発声とグルーブを徹底練習。
【前期】 17～19回目	前期の総まとめ、復習。試験による各項目の修得度チェック。
【後期】 20～23回目	楽曲を使って物語をイメージ、それに基づき自身の歌唱につなげる。
【後期】 24～27回目	イメージした声色の実現練習。
【後期】 28～31回目	自由曲の選曲の仕方。オーディションやコンテストへ繋げる
【後期】 32～35回目	楽曲のクオリティーアップ(発声、グルーブ、表現力、パフォーマンス力)
【後期】 36～37回目	楽曲のクオリティーアップ(発声、グルーブ、表現力、パフォーマンス力)
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 実声 / 響鳴 / 感情表現 / 歌唱テクニック の理解」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	正しい発声を身に付けるには、毎日の地道な練習の積み重ねが必要です。共鳴を習得する事で、楽に歌う事が可能になり、表現力にも繋がっていきます。個人の良さを伸ばし、未熟な箇所を底上げできるようにがんばりましょう。
備考	必要に応じて、CDなどを使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	音声技法Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	音声技法Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	声優事務所「ぶろだくしょんバオバブ」所属。TVアニメ「恋姫†無双(主役・関羽役)」、TVアニメ「ななついろ★ドロップス pure!!(小岩井フローラ役)」など出演作品多数。アニメーション声優、洋画吹替声優、舞台、CMナレーションなどで、2000年より活動、現在に至る。声優としての活動経験を活かした講義内容となっている。				

授業概要

- ①1年次に引き続き、プロとしての発声・発音・標準語のアクセントの徹底をさせ、普段から使いこなせることを基本とします。
②自身が持つ言葉のイメージを膨らませて、表現する技法を身につけます。

到達目標

- ・個々にあった発声・発音の徹底。
- ・イメージを形にする基礎を身につける。
- ・自身が使って話している音を、客観的に聞き分けられるように感覚を研ぎ澄ませます。
- ・冷静に「音・感情・読み方・演じ方」などの良さを判断する力をつける。

授業計画・内容

【前期】 1～4回目	・個人レベルチェック ・目標達成シート ・発声、発音基礎訓練・個人課題克服練習{基礎の徹底}・読書レポート(ビブリオバトル)
【前期】 5～8回目	・発声、発音基礎訓練・個人課題克服練習{基礎の徹底}・読書レポート(ビブリオバトル)・プレゼンテーション
【前期】 9～12回目	・発声、発音基礎訓練 ・オーディション対策(自己PR 等)
【前期】 13～16回目	・夏休み個人課題(夏休み明けレベルチェック) ・発声、発音基礎訓練 ■前期試験:実技(自己PRを含めた文章表現、基礎全般)
【前期】 17～19回目	・オーディション対策 ・目標達成シート前期評価、見直し、再設定 ・発声、発音基礎訓練
【後期】 20～23回目	・発声、発音基礎訓練 ・オーディション対策 ・ビブリオバトル・プレゼンテーション
【後期】 24～27回目	・発声、発音基礎訓練 ・オーディション対策・プレゼンテーション
【後期】 28～31回目	・発声、発音基礎訓練 ・オーディション対策
【後期】 32～35回目	■後期試験:発声、発音に特化した基礎から応用まで総合 ・基礎、応用振り返り
【後期】 36～37回目	・目標シート振り返り ・発声、発音基礎訓練
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 言葉の基礎力 / 課題への取り組み / 応用表現力 / 研究心」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	言葉を操るプロとしてその自覚を持ち、自分の得意なところを伸ばし、不得意なところを補う訓練をする講義です。とにかく基礎の徹底、そして意思をもって表現できるように声を操れる感覚を意識づけしていきます。即戦力としての基本をしっかり身につけたうえで、これから仕事をしていく上での最終準備をしていきます。
備考	・「日本語の発声レッスン」 ・「アクセント辞典」

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	殺陣パフォーマンスⅡ		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	ダンス応用	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	福岡を拠点に幅広いダンスジャンルで活躍中。2013年より某アーティスト専属バックダンサーを経て、AKB48、湘南乃風、倉木麻衣らと共演。現在はPVやCMに出演し、またミュージカル「刀剣乱舞」にも参加している。殺陣、バックダンサー、ミュージカルダンサー、振付師、ディレクターとしての活動経験を活かした講義内容となっている。				

授業概要

- ①舞台やミュージカルに必要なアクションや殺陣の応用を学びます。
- ②身体を使い音楽と組み合わせて、体験的に演技を学んでいきます。
- ③フォーメーションダンスと演技の融合にも取り組みます。

到達目標

- ・1年次の基礎をふまえ、さらに体を鍛え、個性を発揮できるようになる。
- ・個と集団での自分の責任を認識し、集団創造である舞台に立てるよう、協調性を養う。
- ・殺陣やアクションの応用を身につけ、フォーメーションでの動きを共演者と合わせる技能を習得する。
- ・感覚・思考・体験を身体・言語で表現できるようになる。

授業計画・内容

【前期】 1～4回目	・身体能力チェック及び基礎能力トレーニング ・行動と知覚と思考について
【前期】 5～8回目	・殺陣※ビートの決まった音楽に合わせて ・フォーメーションダンス ・舞台的動作の訓練(視線・体勢・開き)
【前期】 9～12回目	・殺陣※ビートの決まった音楽に合わせて② ・殺陣小作品①
【前期】 13～16回目	・殺陣小作品②→ライブウィーク発表
【前期】 17～19回目	・ミュージカルアクション小作品① ■前期試験:問合いによる基本殺陣と音に合わせた殺陣演舞の発表。
【後期】 20～23回目	・殺陣基本動作の復習 ・ミュージカルアクション小作品②
【後期】 24～27回目	・ミュージカルアクション小作品③ ・各自の課題点の洗い出し及びフィジカルトレーニング
【後期】 28～31回目	・ミュージカルアクション小作品④ ・繰り返し撮影し都度フィードバック・フォーメーション、タイミングの確認
【後期】 32～35回目	・ミュージカルアクション小作品発表会→ライブウィーク発表
【後期】 36～37回目	■後期試験:10～30分の殺陣、ミュージカルアクションや自己表現の発表。 一年間の振り返り
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 身体の言語化 / 集団創造力 / 体験の言語化 / 脚本理解力」 の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	殺陣やアクションだけでなく、演技、ダンス、そして音に合わせて舞う演舞と演武を混ぜた表現ができるようにトレーニングしていきます。決められた振り付け、フォーメーションの中でキラリと光る自己表現ができるよう頑張ってください！
備考	都度楽曲CDを使用。また小道具として、殺陣用刀・竹刀・帯・その他を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	映像演技Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	映像演技Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	ドラマアシスタントプロデューサー、音楽系マネージャー歴3年、俳優系マネージャー歴6年、映画アシスタントプロデューサー、タレントマネジメント歴21年経験。その経験を活かし俳優養成コースにおける実践指導を行う。				
授業概要					
<p>舞台と映像の共通点と違いを学ぶ。 映像のカメラワークを学びながら動き(移動・立ち位置)から感情表現(顔・所作・動作)を学んでいく。</p>					
到達目標					
<p>映像でしか表現できない微妙な台詞回し、表現の変化など所作も含めて、どんなカメラワークにも対応できるようになる。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	舞台と映像の共通点と違いについて。
【前期】 5～8回目	カメラワークについて。
【前期】 9～12回目	カメラを通して自分の顔・動作の確認。
【前期】 13～16回目	喜怒哀楽を何パターンか繰り返し、表情を豊かにする。
【前期】 17～19回目	復習を兼ねて、喜怒哀楽を部屋に入って出る流れの中で表現していく。
【後期】 20～23回目	課題の台本に沿って台詞を言いながら、表情を少しずつ変化させていく。
【後期】 24～27回目	一つの台詞を喜怒哀楽に変化させていく。
【後期】 28～31回目	一つの台詞を変化させる時に、身体表現と顔の表情があっているか、特に手の動きが遊んでないか。
【後期】 32～35回目	2人で机に向き合っの台詞のやり取りを、残りの学生がワンカメで撮影していく。
【後期】 36～37回目	撮影エリアを決めて、ひとりの台詞から2人、3人と複数にして、3人の移動や台詞のやり取りを変化させていく。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「台詞の意味 / 感情表現 / 表情 / しぐさ / 声の出し方」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	カメラを気にせず、かつ、カメラに入る演技を、また自分たちで撮影もしながら、楽しんで学べます。
備考	都度用意した台本を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	演技ゼミナール		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	演技ゼミナール	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優養成コース/声優アーティストコース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	日本の巨匠ジェームス三木氏が脚本演出の舞台「わが街」やアニメ映画監督押井守氏が初脚本演を手掛けた舞台「鉄人 28号」等の演出助手を経て、脚本演出家、ライター、専門学校・養成所講師として活動。演劇はもちろん、吉本新喜劇からアイドルコンサートまで、手掛ける舞台は多岐に渡る。これらの経験を活かした講義を行う。				
授業概要					
①表現の基礎力の向上 ②俳優として、演じる上でのコミュニケーション能力の習得 ③自分の武器としての個性を理解と活用					
到達目標					
・自分で考えて演じられる役者になる ・基本的な表現技術(発声や身体)の習得する ・オーソドックスな演じ方と、自分の個性を活かす演じ方を両方理解し、自分を開放した表現を出来るようになる					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・声優、俳優としての基礎技術(発声・身体・魅せ方など)の確認 ・声優、俳優としての必要な基礎能力(発想力、創造力、表現力)の確認 ・自分のなりたい俳優像の確認 ・実践トレーニングとして抜粋台本を使用
【前期】 5～8回目	・基礎技術(発声・身体・魅せ方など)との基礎能力(発想力、創造力、表現力)の確認 ・舞台上の声優、俳優同士の感情の共有を学ぶ ・感情のキャッチボールを意識して演じる
【前期】 9～12回目	・演じる上でのコミュニケーション能力向上の為にシアターゲーム ・前期ラストの試演会に向けた台本スタート(少人数芝居)
【前期】 13～16回目	・自分の感情を開放して演じられるようになる為の実践練習(喜怒哀楽の表現) ・前期ラストの試演会に向けた台本に取り組む
【前期】 17～19回目	・演出意図にあわせた感情コントロールの実践練習 ・前期ラストの試演会に向けた台本に取り組む ・授業内で試演会を実施
【後期】 20～23回目	・前期の試演会のフィードバック ・自分のなりたい声優、俳優像を再度確認 ・声優、俳優としての自分の長所、短所を理解 ・予定調和の芝居にならない為の実践練習(即興等を取り入れながら)
【後期】 24～27回目	・声の使い方を改めて学び、種類と効果を理解する ・声の使い方を理解した上で、一人表現を実践(長めのモノローグ等を使用) ・後期ラストの試演会に向けた台本スタート
【後期】 28～31回目	・声優、俳優としての魅せる演技を確認し、実践しながら習得する ・後期ラストの試演会に向けた台本に取り組む
【後期】 32～35回目	・オーソドックスな演じ方と個性を活かした演じ方を両方実践してみることで、自分の武器を理解する ・授業内で試演会を実施
【後期】 36～37回目	・自分の個性を活かした表現を体得 ・その他は1年間の進行具合を考慮して内容を検討
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「平常点 / 取り組みの意欲・積極性(出欠状況含む) / 演技力 / 完成度」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	プロの現場で声優、俳優として仕事ができる人材になる為の基礎技術と基礎能力をしっかりと習得した上で、「個性」という武器を持った俳優になって欲しいと思っています。年間を通して、自身の目指す俳優像を明確にし、一緒に追及していきましょう。
備考	主に、講師オリジナルのレジュメ・オリジナル台本を生徒に合わせて選択して使用していきます。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカルⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	ヴォーカルⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優養成コース/声優アーティストコース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	<p>高校卒業後、福岡の音楽専門学校でゴスペルを通し本格的に歌うことを学ぶ。 NYのアポロシアターでゴスペルを披露した経験を持つ。</p> <p>現在、Rickie-Gをはじめ多数のアーティストのバックコーラスを務め活動の幅を全国へと広げている。</p>				
授業概要					
様々なジャンルの楽曲を課題曲とし、チェストボイスやファルセットで歌えるようにする。また、ステージパフォーマンスも同様に学ぶ。					
到達目標					
<p>ワールドミュージックでリズム感覚を身につける。 ブラックミュージックで歌唱スキルの向上。 アニソンやJ-popで発音や伝えるスキルの向上。 ミュージカルソングで表現力を身につける。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ヴォイストレーニング・音楽理論の復習
【前期】 5～8回目	課題曲① 発声・リズム・呼吸・音域チェック
【前期】 9～12回目	課題曲② リズムの解釈・リズム取りの応用
【前期】 13～16回目	課題曲③ さらなる音域の拡大・豊かな歌声を目指す発声練習
【前期】 17～19回目	・課題曲の歌唱 ■前期試験：前期内容の理解力テスト及び実技試験
【後期】 20～23回目	課題曲⑤ ・課題曲による発声、発音、呼吸、リズム強化①
【後期】 24～27回目	課題曲⑥ ・課題曲による発声、発音、呼吸、リズム強化②
【後期】 28～31回目	課題曲⑦ ・詩の持つ力を読み解く
【後期】 32～35回目	・課題曲 ■後期試験：後記内容の理解力テスト及び実技試験
【後期】 36～37回目	課題曲⑨
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「音程 / リズム / 発音 / 表現力 / パフォーマンス力」 の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	卒業後にも役立つスキルを身につけて、他ジャンルの楽曲を歌いこなせるようになりましょう
備考	自由曲・課題曲楽譜等

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	言語感情表現Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	言語感情表現Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優養成コース/声優アーティストコース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡の演劇劇団に所属。俳優として20年間活動。東京、福岡などで現在も活動中。舞台演劇・TVドラマ・TVCMに自ら出演の他、CMナレーションや民放番組ナレーションも担当。俳優としての表現力と舞台経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
①言語による表現と体内感情のすり合わせ行う ②他者との掛け合いによって生まれてくる感情を1人でも成立させるトレーニング ③表現に必要な身体的、技術的基礎能力を鍛える					
到達目標					
・戯曲、ナレーション原稿・絵本など様々な媒体に対応出来る技術を身につける。 ・自分のイメージを声、体で表現できる自己認識を身に付ける。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ウォーミングアップ、自身の体の観察
【前期】 5～8回目	記憶の体現のワーク
【前期】 9～12回目	リピテーションワーク
【前期】 13～16回目	リピテーションを使って戯曲を読む
【前期】 17～19回目	■前期試験:課題原稿の朗読 発表～フィードバック 後期に向けての課題チェック
【後期】 20～23回目	ダイヤローク
【後期】 24～27回目	児童文学作品読み
【後期】 28～31回目	長文ナレーション読み
【後期】 32～35回目	課題原稿を身体込みで表現してみる
【後期】 36～37回目	■後期試験:課題原稿を声のみで表現、のちフィードバック
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。学期末に実施する実技試験により「平常点/原稿読解力/表現力/技術/対応力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	どんなに自分の中で納得のいく表現をしても、誰かに届かなければそれは表現者とは言えないと思います。言葉を自分中だけでなく相手へ届ける事を大切に出来る表現者を目指しましょう。表現するための道具は自分自身の体です。継続的な基礎トレーニングで柔軟な身体を作っていきましょう。
備考	都度選定した原稿を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォイスアクター実習		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	ヴォイスアクター実習	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優養成コース/声優アーティストコース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	TVアニメ「ポケットモンスターBW」、外画「ザ・パンフィック」など出演作品多数。演技のジャンルに囚われず、テレビドラマや舞台、ナレーターなど2009年より声優として幅広く活動。現在は、ナレーター、ボイストレーナーを中心に活動中。声優としてだけでなく、様々な現場経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
<p>①ゲームボイス収録等、一人での収録を想定し、仮想の相手をイメージした演技を学んでいきます。</p> <p>②媒体によって違う表現方法を訓練し、現場での対応力をつけていきます。</p> <p>③決められた尺(時間)に台詞をおさめられるように訓練する。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・仮想の相手を想定した、説得力のある演技ができるようになる。 ・相手の台詞を想像し、会話ができるようになる。 ・ディレクションによる対応力を身につける。 ・声のバリエーションを増やす。 ・尺(時間)に合わせて演技できるようにする。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・キャラクター、役作りについて ・尺(時間)について
【前期】 5～8回目	・ひとこと台詞 ・テンション、熱量
【前期】 9～12回目	・日常会話 ・距離感、台詞の方向、目線
【前期】 13～16回目	・難解台詞 ・テンポ、リズム
【前期】 17～19回目	■前期試験:実技(課題台本)
【後期】 20～23回目	・身体イメージの強化 ・動きのある声、息、ゆらぎ
【後期】 24～27回目	・キャラクターとしての笑い
【後期】 28～31回目	・一人芝居
【後期】 32～35回目	■前期試験:実技(課題台本)
【後期】 36～37回目	・1年間の振り返り
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。学期末に実施する実技試験により「平常点/原稿読解力/表現力/技術/対応力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	どんなに自分の中で納得のいく表現をしても、誰かに届かなければそれは表現者とは言えないと思います。言葉を自分中だけでなく相手へ届ける事を大切に出来る表現者を目指しましょう。表現するための道具は自分自身の体です。継続的な基礎トレーニングで柔軟な身体を作っていきましょう。
備考	都度選定した原稿を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ナレーション応用		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	ナレーション応用	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優養成コース/声優アーティストコース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	TVアニメ「ポケットモンスターBW」、映画「ザ・パンフィック」など出演作品多数。演技のジャンルに囚われず、テレビドラマや舞台、ナレーターなど2009年より声優として幅広く活動。現在は、ナレーター、ボイストレーナーを中心に活動中。声優としてだけでなく、様々な現場経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
<p>√①2年次では様々なナレーションに触れ、現場によって異なる表現方法を理解していきます。</p> <p>②メディアによって違う表現方法を訓練し、現場での対応力をつけていきます。</p> <p>③ナレーション原稿が何を誰にどのように伝えたいのか、しっかりと理解する力をさらにつけていきます。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な分野に合わせた表現で、ナレーションを読むことができる。 ・時間の決まっているナレーションに対応できる力を、訓練することで身につけていく。 ・自分の得意とする読み方やジャンルを理解し、プロとして仕事として成立するナレーションを読めるようになる。 ・数多くの原稿に触れることで、原稿の伝えたいこと、要点を理解する能力を身につけ、それを的確に表現する力を養う。 ・自身でナレーション原稿を作成することで、文章力と対応力を養う。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・オーディションを見据えたナレーション
【前期】 5～8回目	・「得意、不得意」の自覚 ・戦略
【前期】 9～12回目	・リテイクについて ・個性とストレート
【前期】 13～16回目	・媒体、シーンに合わせる、バリエーションの強化
【前期】 17～19回目	■前期試験:実技(中尺ナレーション) 初見の対応力・アクセント・声たて・秒数感覚など総合的にチェック。
【後期】 20～23回目	・前期の振り返り ・朗読、語り、読み聞かせ
【後期】 24～27回目	・原稿作成 ・作品制作に向けて
【後期】 28～31回目	・作品制作
【後期】 32～35回目	■後期試験:実技(映像ナレーション) 内容を的確に伝達・表現できているかチェック。
【後期】 36～37回目	・1年間の振り返り
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 滑舌等基礎 / 表現力 / 秒数感覚 / 伝達力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	2年次では、ナレーションの内容やイメージを的確に伝えられるような表現技法を学んでいきます。様々な原稿を通して、自分なりの表現を身に付け、代わりのいないナレーションを目指します。たくさんの本や原稿に触れ、要点を的確にまとめ、伝達する力を養っていきましょう。
備考	その都度準備した教材を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ミュージカル2.5次元ゼミナール		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	ミュージカル2.5次元ゼミナール	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優養成コース/声優アーティストコース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡の演劇劇団に所属。俳優として20年間活動。東京、福岡などで現在も活動中。舞台演劇・TVドラマ・TVCMに自ら出演の他、CMナレーションや民放番組ナレーションも担当。俳優としての表現力と舞台経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
①前期ミュージカル、後期2.5次元ミュージカルの台本を使用し、役の心情や行動原理を理解すると共に、観客の視線を意識したミュージカル演技を習得していきます。②年間2本の舞台公演を実際の劇場で行う事により舞台制作における、役者としての立ち居振る舞いやテクニカルスタッフの動きなど学び、様々な方面からミュージカル・2.5次元というものを習得していきます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・役作りはもちろんのこと、作品内での自分の役回りや、ポジション、立ち位置など総合的に作品に関わる事の出来る一役者を目指す。 ・歌唱や殺陣などを舞台上で魅せる為の技術を身に付ける ・テクニカルの方々と共に制作する事により、舞台上での裏表での立ち振る舞い方を考える。 ・自身の役やダンス、殺陣、歌唱が作品内でどの様な演出効果を産むのかを考えられる役者となる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ストレッチ・リズムトレーニング・ミュージカル、2.5次元ミュージカルの違いの考察 基礎練歌唱レッスン(基礎練は全期通して行う)
【前期】 5～8回目	・ミュージカルの発声方法 ・ミュージカル制作①
【前期】 9～12回目	・ミュージカルの所作①基本の立ち方、連続した動き ・ミュージカル制作②
【前期】 13～16回目	・ミュージカルの所作②役柄ごとの普遍的イメージ ・ミュージカル制作③
【前期】 17～19回目	・前期 ミュージカル発表 ■前期試験::課題曲歌唱。歌唱時の身体表現も共に評価する
【後期】 20～23回目	・ミュージカル作品発表振り返り ・次回作に向けてのディスカッション ・2・5次元ミュージカル制作
【後期】 24～27回目	・衣装着付け ・2・5次元ミュージカル制作②
【後期】 28～31回目	・ミュージカルの所作③コメディ・リリーフ ・2・5次元ミュージカル制作③
【後期】 32～35回目	授業内舞台発表会②
【後期】 36～37回目	■前期試験::課題曲歌唱。歌唱時の身体表現も共に評価する
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 滑舌等基礎 / 表現力 / 秒数感覚 / 伝達力」 の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	二年次では、ナレーションの内容やイメージを的確に伝えられるような表現技法を学んでいきます。 様々な原稿を通して、自分なりの表現を身に付け、代わりのいないナレーションを目指します。 たくさんの本や原稿に触れ、要点を的確にまとめ、伝達する力を養っていきましょう。
備考	都度用意した原稿・戯曲・CDを使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	声優スタッフ実習		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	声優スタッフ実習	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優養成コース/声優アーティストコース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	<p>絵画教室講師、3DCG映像制作会社勤務を経て、現在フリーランスのイラストレーターとして活動中。 大手食品メーカー店内イラストや冊子挿絵、様々なパンフレットデザイン等、幅広く活動。作家として、ライブペイントや個展・グループ展も開催。 その他、デザイン系専門学校講師兼任。</p>				
授業概要	<p>Adobe Illustrator、Photoshopの基本操作や応用方法を身につけ、DTPについて実習を行う。 Adobe Premiere Proの基本操作や応用方法を身に付け、学内イベントに関連した映像作品の制作を行う。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・DTPに必要なPC技術を学ぶ。また、色やフォントの効果を理解し、目的に沿ったデザイン表現が出来る。 ・フライヤーやグッズなど入稿作業を身に付ける。 ・動画編集に必要なPC技術を学ぶ。 ・必要な素材の選定判断を身に付ける。 				

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	「Illustrator 基本操作・練習問題」 アートボードの作成・テキスト・図形・柄・整列・重ね順 等。
【前期】 5～8回目	「名刺デザイン」 規格サイズを元に形から考える。自分らしさが出る名刺に。
【前期】 9～12回目	「Premiere Pro 基本操作」 シーケンスの設定・カット・不透明度・エフェクトの種類 等。
【前期】 13～16回目	「テロップ入れ」 文字デザインから走り書きアニメーションまで。
【前期】 17～19回目	「Photoshop 基本操作・練習問題」 写真切り抜き・加工 等。 ■前期試験:メニュー表制作 好きな飲食店を選び、連想出来るデザイン・文字組みに。レイアウトに沿って写真も加工する。
【後期】 20～23回目	「学園祭フライヤー制作」 入稿すると想定し、トンボやガイド、アウトライン化を覚える。
【後期】 24～27回目	「学園祭ダイジェストムービー」 公演を振り返って当日の映像やエンドロール等、組み合わせる。
【後期】 28～31回目	「ロゴマークデザイン」 パス練習後、既存のロゴマークを分析。架空の店舗やアルバイト先のリメイクとしてオリジナルロゴを作成。
【後期】 32～35回目	「卒業公演フライヤー制作」 公演に沿った効果的なデザインに。
【後期】 36～37回目	「卒業公演 チケット展開」 印刷時に最適なフォントサイズであるか、フライヤーがなくても単体で公演を把握できるものであるか。 ■後期試験:トレーラー制作 MVを抜粋し、アルバムがリリースされたと仮定してトレーラーを制作。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 提出 / 美しさ / オリジナリティ / 期限内」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	Adobe Illustrator・Photoshopは、フライヤー制作や写真の加工をベースに、アイコン・ヘッダーの作成から動画の素材等、幅広くデザインすることが出来ます。よって、どのような業界であってもAdobeソフトを扱えることは大変武器になります。様々な制作物に取りかかる中で操作を覚えることはもちろん、デザインコンセプトまで説明出来るよう考えながら制作していきます。また、普段何気なく目にするCMや映像には様々な要素が盛り込まれています。授業では、既存の映像から紐解いて制作する上で必要な情報を絞る力と編集力を身につけます。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	俳優基礎II		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	俳優基礎II	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	バラエティー番組のMCやラジオパーソナリティー、様々なイベントへの出演等、お笑い芸人として15年間活動。現在は、イベントMCを中心に活動しながらラジオ番組にも出演している。声優や俳優をゲストに招いたイベントにも多数出演しており、これらの経験を活かした講義を行う。				
授業概要					
トークの技術を磨きながら、役者としてトークイベント等に出演した際の表現方法の応用を学ぶ。 また、自己PRや面接での表現方法などを体系立てて学習する。都度録画し、プレイバックしながら実践形式で学ぶ。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・外部に向けた話し方、自己表現の仕方を身につける。 ・トークイベントやトーク番組に出た際の自身の表現方法を実践形式で模索する。 ・フリートークだけでなく、自己PRや面接での質疑応答など幅広い意味での「人対人」の対応力を高める。 ・表情や、声のトーン等、自身の理想の表現を確立する。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	自己表現トレーニング① 客観的な視点で自身の強みを探し、分かりやすく伝える方法を学ぶ
【前期】 5～8回目	自己表現トレーニング② 自己表現を行動・認知・感情の面から理解する
【前期】 9～12回目	自己表現トレーニング③ トークイベント等を想定した実践形式のテーマトーク
【前期】 13～16回目	質疑応答トレーニング① 相手の質問意図をくみ取り答えることについて体系立って学ぶ
【前期】 17～19回目	■前期試験: 質疑応答&テーマトーク/撮影後フィードバック 質疑応答&テーマトークの振り返り
【後期】 20～23回目	質疑応答トレーニング② 応答の速さ、質を上げる反復トレーニングを行う
【後期】 24～27回目	オーディション対策・模擬面接/撮影後フィードバック
【後期】 28～31回目	オーディション対策・模擬面接/撮影後フィードバック
【後期】 32～35回目	トーク企画考案
【後期】 36～37回目	■後期試験: トーク企画実践/撮影後フィードバック
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「トーク技術/表現力/構成力/対応力/創造力」 の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	話し方やテンポ、声量など自身の理想により近づけるためには、現時点の自身の表現力を認識した上で様々な事に取り組む必要があります。 撮影した映像をしっかりと確認し改善点を模索しながら理想の表現を実現させましょう。
備考	都度用意した原稿を使用

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ダンス応用		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	スタジオワーク	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優養成コース/声優アーティストコース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	芸能事務所でアイドルや俳優の育成、ダンススタジオや音楽専門学校でダンス講師をしながら、ポルトガルでのTV番組メインダンサーでの出演や、アパレルブランドの広告 企業PV出演、着物ブランドとのコラボなど、ダンサーとしてアーティスト活動を行う。				
授業概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチ・筋トレ 身体作り ・基礎トレーニング(アイソレーション / リズム / プリエ / ターン) ・振り付け・踊ってみた・コレオグラフ 					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスのジャンルや基礎を理解し動ける身体のベースを作る。 ・様々なジャンルの楽曲に合わせたコンビネーション・振り付けを覚え踊れる。 ・動けるだけでなく、身体を使って表現する感性や個性を養う。 ・流行りのダンスをコピーしダンスのトレンドを理解する。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	姿勢/アイソレーション / リズム / プリエ / ターン/踊ってみた(可愛い系)
【前期】 5～8回目	アイソレーション / リズム / プリエ / ターン/振り付け(ストリート系)
【前期】 9～12回目	アイソレーション / リズム / プリエ / ターン/踊ってみた(カッコイイ系)
【前期】 13～16回目	アイソレーション / リズム / プリエ / ターン/振り付け(JAZZ系)
【前期】 17～19回目	アイソレーション / リズム / プリエ / ターン/振り付け(発表会)
【後期】 20～23回目	ベーシック強化アイソレーション編/踊ってみた(可愛い系選択)
【後期】 24～27回目	ベーシック強化プリエ、ターン編/振り付け(JAZZ系)
【後期】 28～31回目	アイソレーション / リズム / プリエ / ターン/踊ってみた(カッコイイ系選択)
【後期】 32～35回目	習得した技術を使ってインプロヴィゼーション。振り付け強化。
【後期】 36～37回目	習得した技術を使ってインプロヴィゼーション。振り付け強化。(発表会)
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「基礎体力 / プリエ・ターン / アイソレーション / 振り付け / 表現力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ダンスの基礎を学ぶとともに、身体能力の向上、身体で表現する楽しさを学んでいきます。 それぞれの知識、技術、経験はどれもステージングに活かされると思います。 表現者として実りのある授業をみなさんと創り上げていきましょう。
備考	4回に一回程度、衣装を合わせて撮影しコンスタントに本番を経験していきます。 機会があればステージでのクラスも検討しています。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	表現パフォーマンスⅡ		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	表現パフォーマンスⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優養成コース/声優アーティストコース/俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	バラエティー番組のMCやラジオパーソナリティー、様々なイベントへの出演等、お笑い芸人として15年間活動。現在は、イベントMCを中心に活動しながらラジオ番組にも出演している。声優や俳優をゲストに招いたイベントにも多数出演しており、これらの経験を活かした講義を行う。				
授業概要					
<p>発声やトークの技術を磨きながら、司会進行やイベントMCなどの技術を習得する。 バラエティー番組やイベントでのゲームコーナー、情報番組等に出演した際の表現方法を学ぶ。 様々なジャンルでの出演を想定した実践形式で、撮影後フィードバックを行う。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・フリートーク、スピーチ、インタビューなど、テレビ・ラジオの仕事をする上で必須となる技術を身に着ける。 ・企画の趣旨を理解し、内容に適した対応力を身に着ける。 ・様々なジャンルの企画を実践し、企画ごとに必要な技術を習得する。 ・自分の得意ジャンル、不得意なジャンルを認識する。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	バラエティー企画に出演する際の心構え 司会進行・MC基礎 様々な対象に伝達するための発声
【前期】 5～8回目	バラエティー企画実践①(報道・ドキュメント) ※撮影後フィードバック
【前期】 9～12回目	バラエティー企画実践②(クイズ・ゲーム) ※撮影後フィードバック
【前期】 13～16回目	バラエティー企画実践③(コント・コメディ) ※撮影後フィードバック
【前期】 17～19回目	■前期試験:バラエティー出演収録、チェック 前期バラエティー企画振り返り
【後期】 20～23回目	表現トレーニング バラエティー番組鑑賞・考察
【後期】 24～27回目	バラエティー企画実践④(食レポ・現場レポート) ※撮影後フィードバック
【後期】 28～31回目	バラエティー企画実践⑤(MC実践) ※撮影後フィードバック
【後期】 32～35回目	バラエティー企画実践に向けてオリジナル企画考案
【後期】 36～37回目	■前期試験:オリジナルバラエティー企画収録、チェック 後期バラエティー企画振り返り
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「企画への理解/対応力/表現力/洞察力/自己理解」の5項目の到達度を評価する。
学生へのメッセージ	バラエティーでは、自分がどのように表現すればショーとして成立するのか常に考え続けなければいけません。 様々なジャンルの企画を経験することで「対応力」の幅を広げていきましょう。 また、授業を通して自分の得意ジャンル、不得意なジャンルを認識しましょう。
備考	都度用意した原稿を使用